

飯能西中だより



# 天覧山 3月号

飯能市立飯能西中学校  
学校だより  
令和3年度 第12号  
令和4年3月1日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

皆様に支えられ 飯能西中学校は今年度50周年の節目を迎えました。

## 卒業式を控え故郷を想う

校長 中村 公一

日ごとに寒さが緩み、春の訪れが感じられるようになってきました。春は別れと出会いの季節。3年生の皆さんとはあと2週間でお別れを迎えます。そして、1、2年生の皆さんも来年、再来年には卒業を迎え、やがてはここ飯能から旅立つときが来るのかもしれませんが。私が高校生まで過ごした街は長野の山間にあるのですが、ここから秩父へと続く奥武蔵の山脈の景色は、私の育った田舎のそれとよく似ています。そのためかこの時期に外を眺めていると、40年ほど前に私がふるさと長野を離れたころのことを思い出すのです。この年になって今なお思い出す私が育った原風景の記憶。それは「千曲川を見下ろす丘一面に咲く黄色い菜の花、青い空に浮かぶ白い雲、木々の緑が輝き薫る風、太陽の日差しが輝く白い山脈と川面」といった美しい北信濃の景色と、私を愛し育ててくれた父と母の姿です。

私が東京の杉並で一人暮らしを始めたのは高校を卒業した年の春のことです。4畳半一間でお風呂は無くトイレは共同。私の家からの仕送りでは、それでも借りるのがやっとでした。その前の年、私は東京の大学に進学させてほしいと父と母にお願いしました。「仕送りがなくなったときは新聞配達でも何でも、アルバイトをしながらなんとか頑張るから。それでもだめだったとき。そのときは諦めるから。出来るところまで何とかやらせて欲しい。」と、両親の前に正座し、手をついて頭を下げ、必死にお願いしたのです。その後しばらくの沈黙がありました。私は畳に手をついたまま、両親から何と言われるかじっと待っていたのですがその時間はとても長く感じられました。しばらく経ってから両親が交わした言葉は「お母さん、お金はなんとかかなるか?」「なんとかするしかないね。」でした。父も母も幼少期に終戦を迎えたのですが、経済的に苦しい家庭に育ったため新制中学を卒業した後に高校へは進学することができませんでした。その後迎えた高度経済成長期。多くの人が高校に進学するようになる中で、家計を支えるために中卒で就職した二人は、それぞれ数え切れないくらいの苦勞をして来たはずですが、私の将来を案じてくれたのであろう二人の言葉に、私の目からは自然と涙がこぼれていました。

その後、母は農協からお金を借りて当座のお金を用意してくれました。月々の返済もあるので仕送りは毎月ぎりぎりでした。生活費を切り詰めなければならなかったのも、一日のお昼代は100円だけという日が続きました。友達から一緒にお昼を食べに行こうと誘われてもお金がないので行けません。水だけ飲んで図書館で昼休みを過ごしたり、売店で安いパンを一つ買って外のベンチで食べました。お風呂や洗濯も、銭湯やコインランドリーにお金がかかるのでとても毎日に行けません。その月の残金を考えながら一週間に数回でした。当然のことながら友達と映画を見に行ったりとか食事をしたりとか、そういうお金はありませんでした。そんな辛い生活でも他の人を羨んだり逃げ出したりしなかったのは、他にもっと辛い境遇の人がいたこともあるのですが、故郷で元気に頑張ってくれている父母の存在が大きかったと思います。

高校を卒業してもまもなく、東京での生活を立ち上げるために布団や衣類、本などを車に載せて長野から運んでもらったときのことです。東京でも珍しく小雪がちらつく寒い日でした。荷物を置いて帰る車の中から、母がそっと手を出し、私の手を握りしめ「辛いこともあるだろうが頑張れ。私らもがんばるから」と言ってくれたのです。父はハンドルを握りしめてじっと前を向いたままでしたが、二人の目にはうっすらと涙がうかんでいるのがわかりました。

このとき、私の心の中には「いつか両親を喜ばせてあげたい。必ず安心させてあげたい。」という想いが点ったのです。以来、四十年、心の中の灯火は消えたことはありません。

故郷(ふるさと) 私たちにとってたくさんの意味が詰まった言葉です

## 本年度の学校評価について

令和3年度教育活動の評価（保護者アンケート） 肯定的評価（4と3）が80%以上を◎、80%～70%を○、70%以下を△で表しています。		1年	2年	3年
1	生徒は、笑顔で元気にあいさつができていますか。	○	○	◎
2	生徒は、目標を持って学校生活を送っていますか。	○	△	◎
3	生徒は、意欲的に授業に取り組んでいますか。	○	◎	◎
4	生徒は、自主的に家庭学習に取り組む習慣が身につけてきていますか。	△	△	○
5	生徒は、進路学習により、将来の職業や生き方に関心を持つようになっていますか。	△	△	○
6	生徒は、清掃や身の回りの整理整頓に積極的に取り組んでいますか。	△	△	△
7	生徒は、修学旅行・宿泊学習・校外学習などに楽しく参加していますか。	◎	◎	◎
8	生徒は、学校生活を通して、成長が見られると思いますか。	◎	◎	◎
9	生徒は、生徒会活動や委員会活動に積極的に取り組み、活躍できていますか。	○	△	○
10	生徒は、部活動を通して、努力する姿勢や仲間を大切にすることが、育つと思っていますか。	◎	◎	◎
11	生徒は、人の生き方について考え、豊かな心を身につけようとしていますか。	○	○	◎
12	先生は、授業方法を工夫し、生徒にわかる授業を実施していますか。	△	○	◎
13	先生は、生徒の学習の成果が見える適正な評価をしていますか。	◎	◎	○
14	先生は、生徒の相談事や悩み事などについて、親身に対応していますか。	○	○	◎
15	先生は、生徒理解に努め、一丸となって生徒指導をしていますか。	○	○	◎
16	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていますか。	○	○	◎
17	学校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいますか。	◎	◎	◎
18	学校は、いじめなどのない楽しい学級づくりに努めていますか。	◎	◎	◎
19	学校は、新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っていますか。	◎	◎	◎
20	学校は、生徒の学習保障に努めていますか。	○	◎	○

本年度の学校運営につきまして皆様から多くのご意見をいただきました。お忙しい中大変ありがとうございました。改めましてお礼を申し上げます。それぞれの評価項目につきまして概ね7割から8割の皆様から肯定的な評価をいただく一方で、生徒が日常の学習や生活、将来の進路選択に向かう姿などにおいては大きな課題があることが明らかとなりました。特に学校に寄せられた意見の中には、教員の授業の仕方や、生徒や保護者に対する言動について大変厳しい指摘をいただいたものがございます。中でも「生徒の力を伸ばす授業になっていないのではないか」「生徒を指導する立場なのだから自らの態度も見直して改めて欲しい」「先生の言動に愛情を感じられないときがある」といったご意見には、私どもが4月に掲げた基本理念からはかけ離れた実態があることを痛感し、これを真摯に受け止め誠実に向き合わなければならないと決意を新たにいたしましたところがございます。今後、職員研修などを通じて、職員一人一人が自分の言動を振り返り誓いを立てるなどの取り組みを行い、昨年最初に示した以下のような三つの理想像が実現できるよう努めて参りたいと思います。

**目指す学校像**・・・心のよりどころとなる世界に誇れる学校

**目指す生徒像**・・・将来を生き抜く力を備えた生徒

**目指す教職員像**・・・使命感と愛情に溢れる教師

引続き皆様の深いご理解と温かいご支援をいただければ幸いですようよろしくお願い申し上げます。

### ○ 3月の主な行事予定 ○

3日（木）3年生を送る会	15日（火）第50回卒業式
4日（金）埼玉県立高校入学許可候補者発表	1・2年生臨時休業日
7日（月）埼玉県公立高校追検査	18日（金）1・2年生保護者会
8日（火）性に関する指導（3年生）	23日（水）4時間授業
9日（水）埼玉県公立高校追検査結果発表	24日（木）3時間授業、給食最終日
10日（木）球技大会（3年）	25日（金）修了式
14日（月）4時間授業、卒業式準備	4月 8日（金）入学式、始業式